

地域住民の方への COVID-19に関するニーズ調査(まとめ)

2020/10/20

今回、広報誌への QR コードの掲示、調布市の市報、ちょみっと、Twitter や狛江市の Facebook、Twitter を活用して Google を用いたアンケート調査を依頼した。

回答者の背景は、調布市・狛江市それぞれ 50%であった。年代としては、30代～50代が多く 84%を占めていた。性別は 80%が女性であった。職業は、会社員34%・主婦21%の順であった。感染拡大後の勤務学習環境としては、通常通り 35%・主に在宅 21%であった。家族構成は、夫婦と子供世帯が 57%・夫婦のみ 15%であり、子育て世代の回答者が多かった。身近に感染者がいると回答した方は、5.6%であった。

アンケート項目ごとに多い順で説明する。

・感染予防として取り組んでいることは、[マスクをする] [手洗い・うがいをする] [住居内の消毒] [手指消毒] [外出を控える] であり、必要な感染対策は概ね実施されていた。

・生活の影響(マイナス面)は、[行動範囲の縮小] [他者との交流の減少] [運動不足] [余暇時間の制限] の順に多く、生活の影響(プラス面)では、[特になし] [生活リズムに気を付けた] の順に多く、マイナス面が多く回答されていた。

・健康上の不安と困りごとでは、[運動不足] [感染への不安] [精神的な不調] [太った] であり、対処方法としては、[情報収集] [自宅でできる運動の実施] [特になし] [食事に気を付けた] であった。不安と困りごとへの対処はあまりされていないことが推察された。

・JANP センターに期待することでは、[COVID-19 の情報提供] [感染予防策の情報提供] [メンタルサポート] [健康相談] [運動指導] であり、発信方法としては、[オンタイムでの配信] [動画の配信] [パンフレットや冊子の配布] [少人数制での講演会の開催] であった。配信方法の希望は、回答した対象が 30代～50代とこれまでのアンケートと比較すると若い世代が多いことから、オンタイムなどの希望が高かったと思われる。

東京慈恵会医科大学

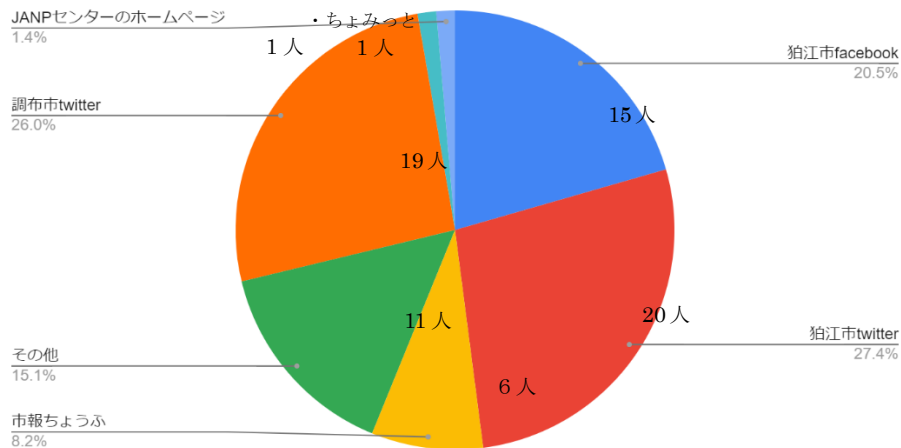
地域連携看護学実践研究センター

ニーズ・リソース・マッチンググループ

地域住民の方への COVID-19 に関するニーズ調査

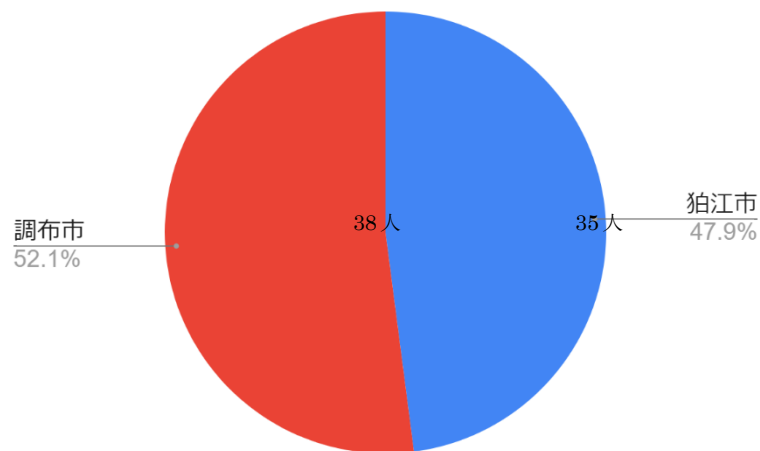
■調査期間：2020年10月5日 - 2020年10月20日

1. アンケートへのアクセス源 (n=73 チェック無し1)

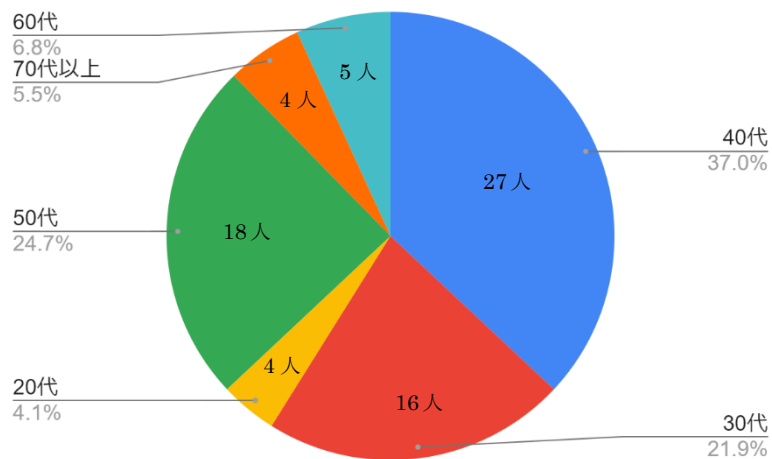


2. 回答者について

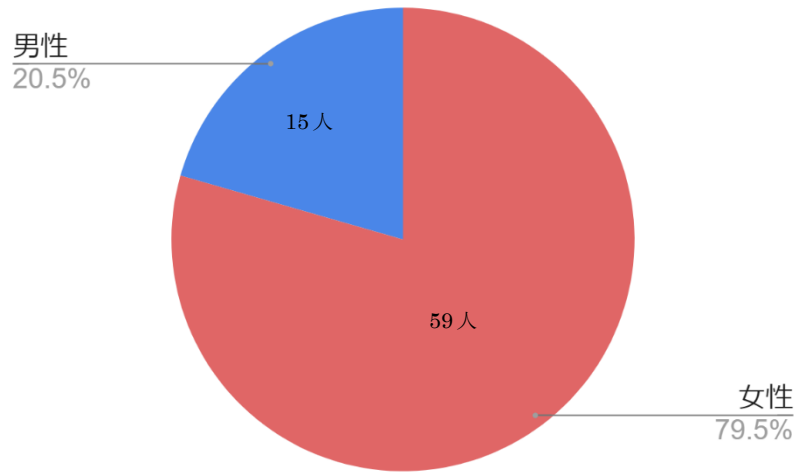
1) 住んでいる地域 (n=74)



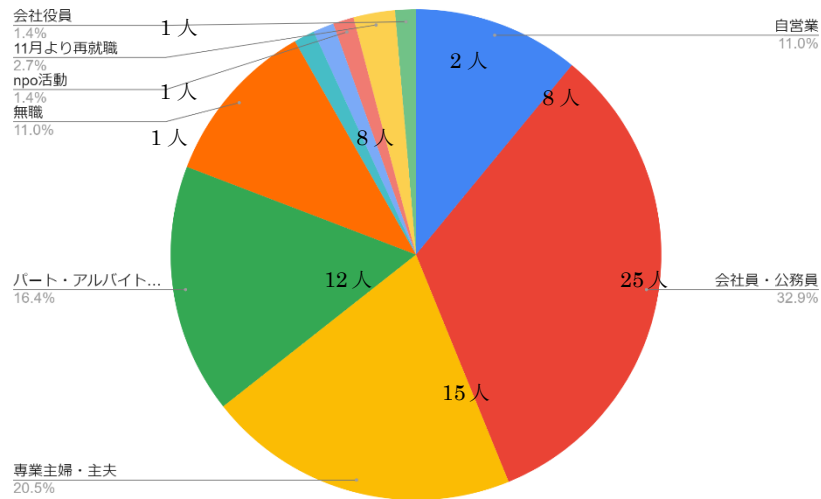
2) 年齢 (n=74)



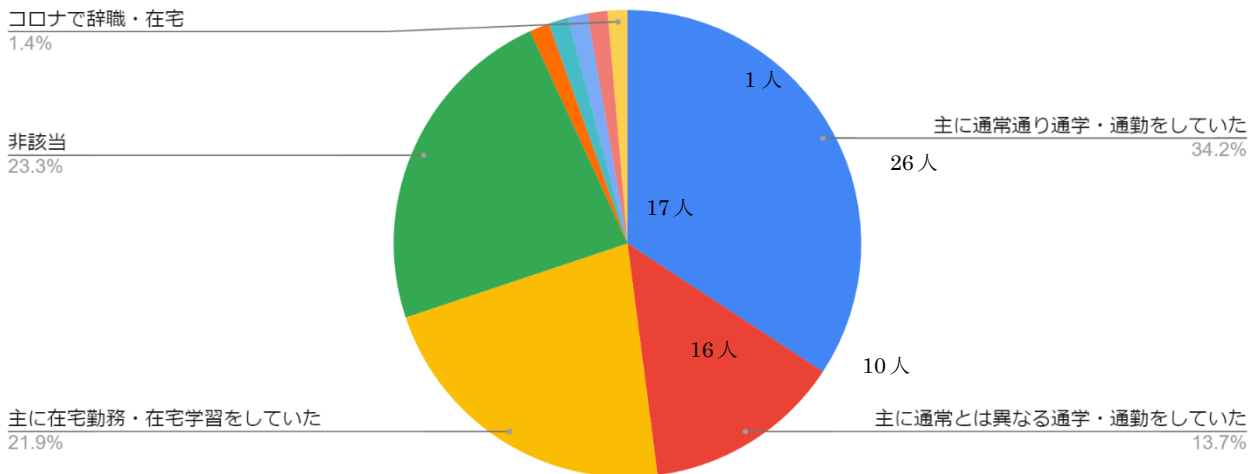
3) 性別 (n=74)



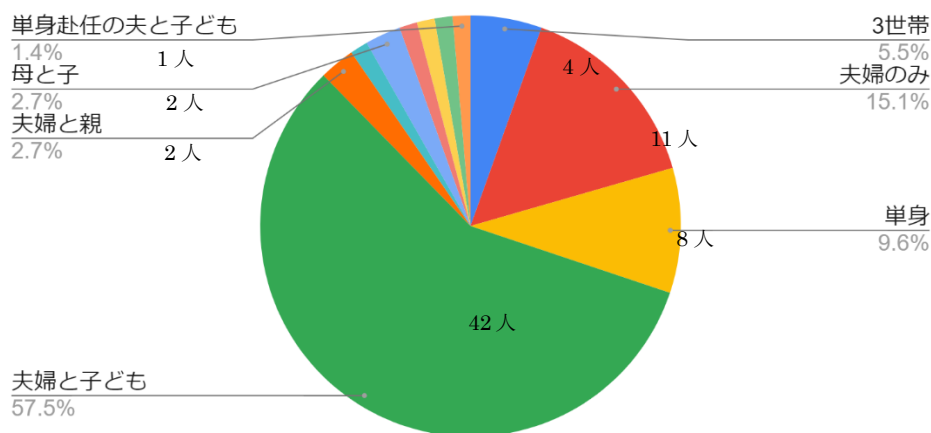
4) 職業 (n=74)



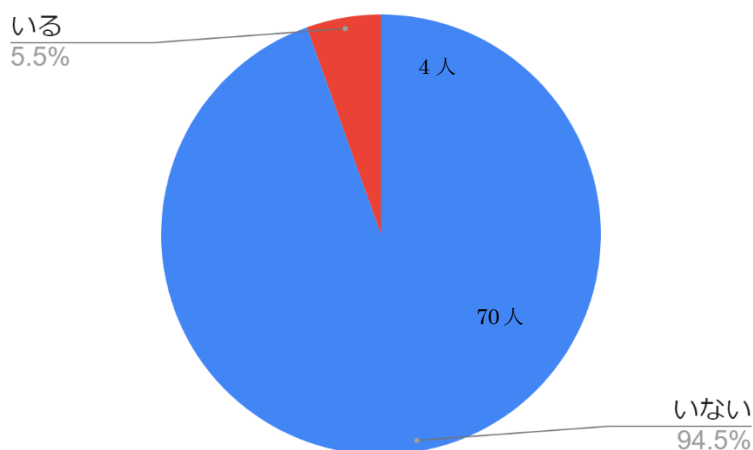
5) 新型コロナウイルス感染拡大後の勤務や学習環境 (n=74)



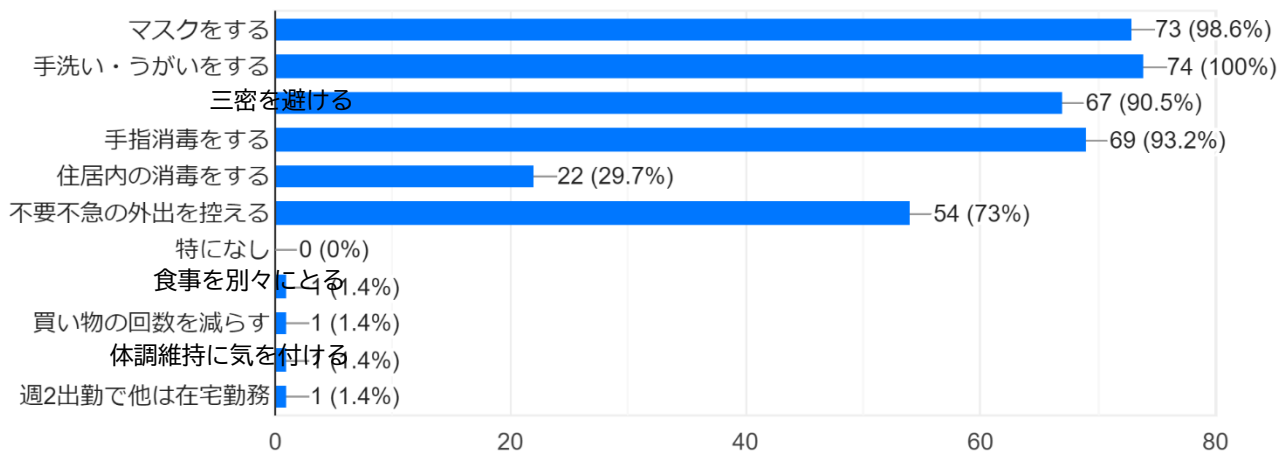
6) 家族構成 (n=74)



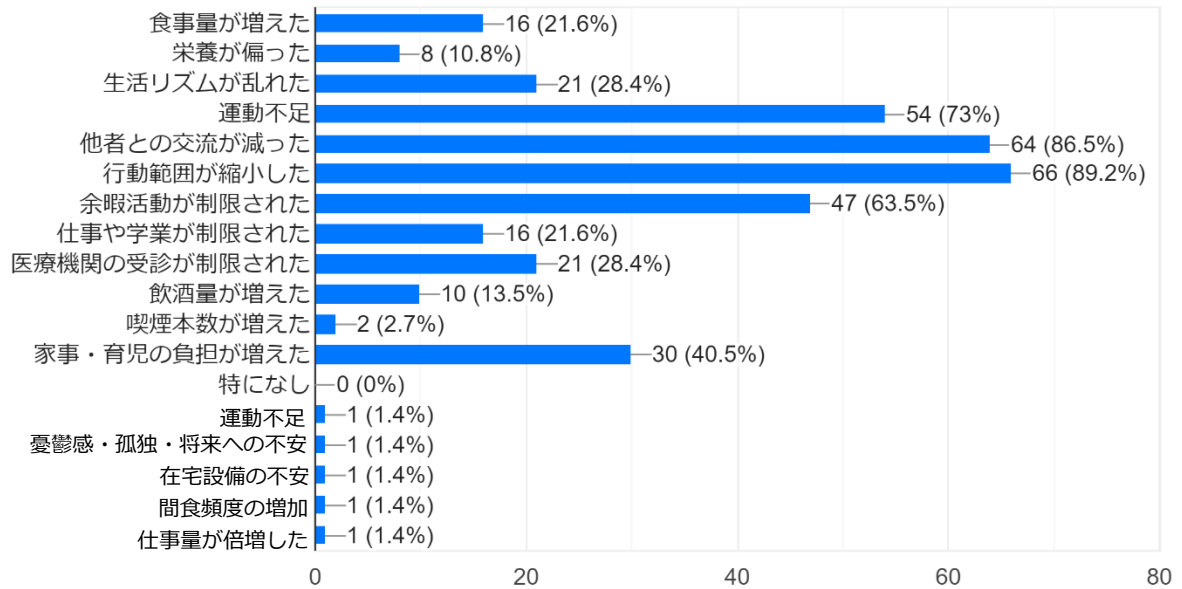
7) 身近な新型コロナウイルスに感染者の有無 (n=74)



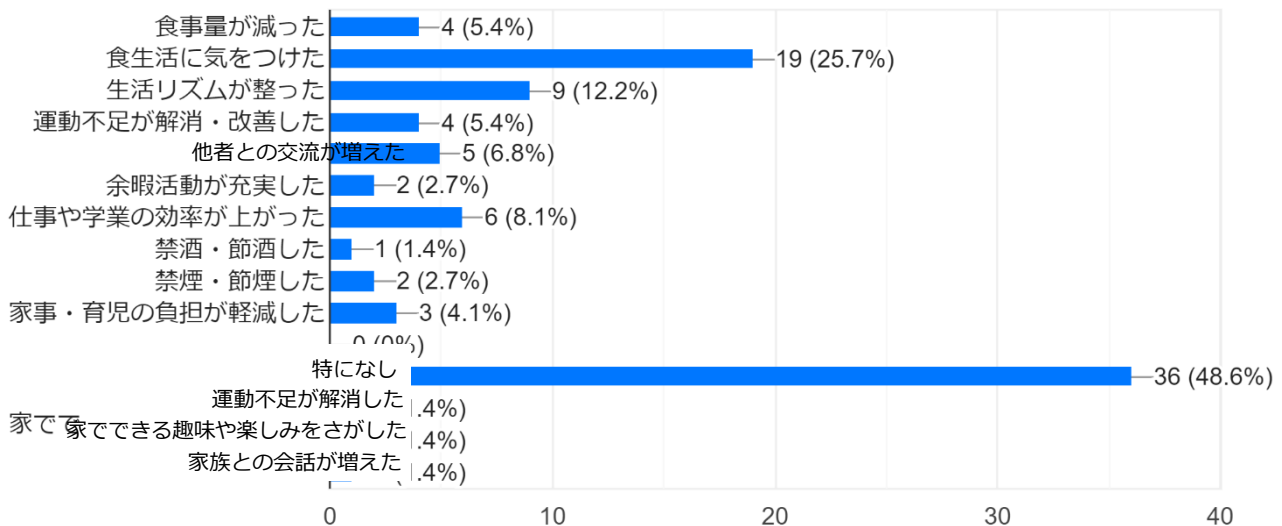
3. 新型コロナウイルス感染予防のために取り組んでいること (n=74) 複数回答可



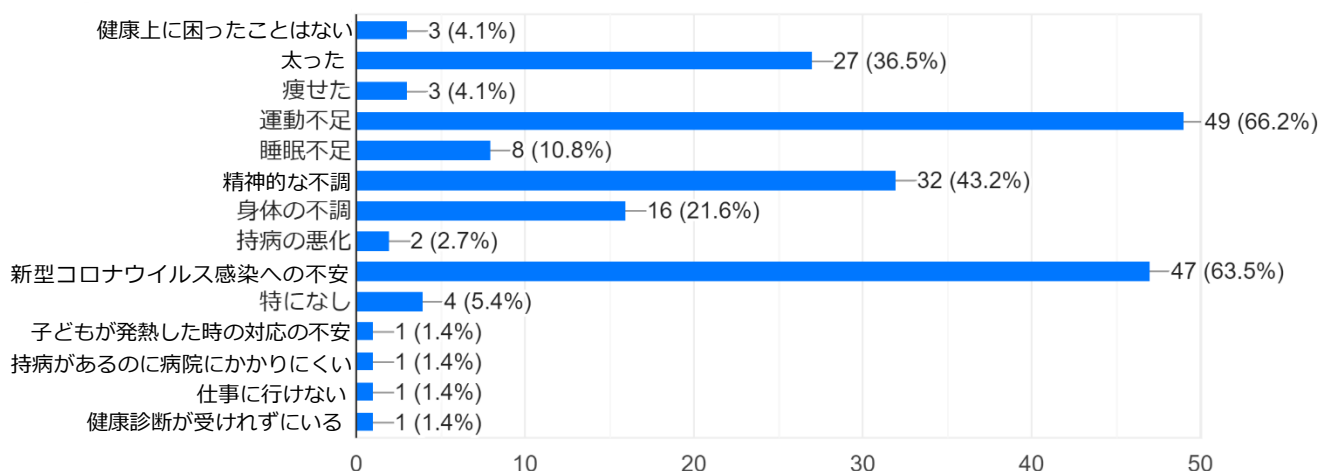
4. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活への悪い影響 (n=74) 複数回答可



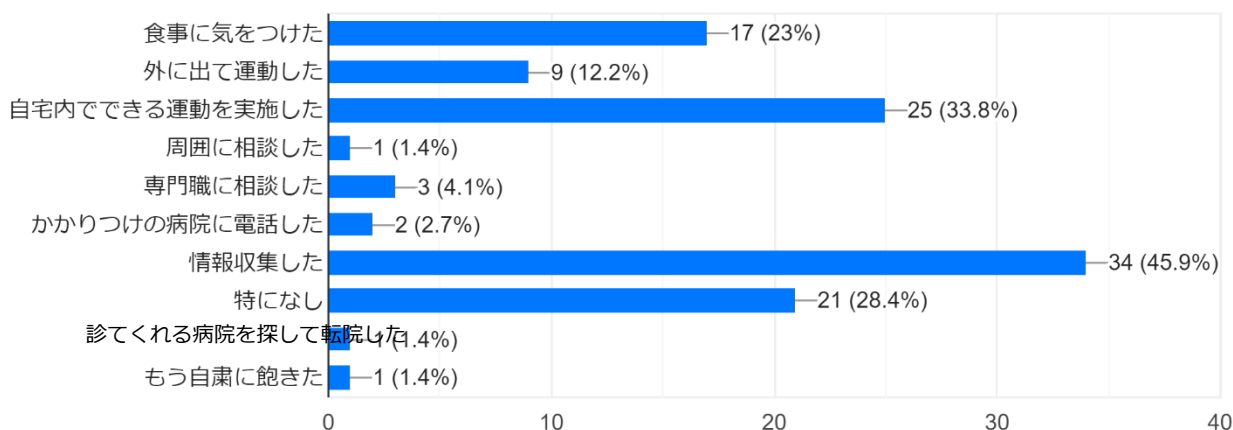
5. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活への良い影響 (n=74) 複数回答可



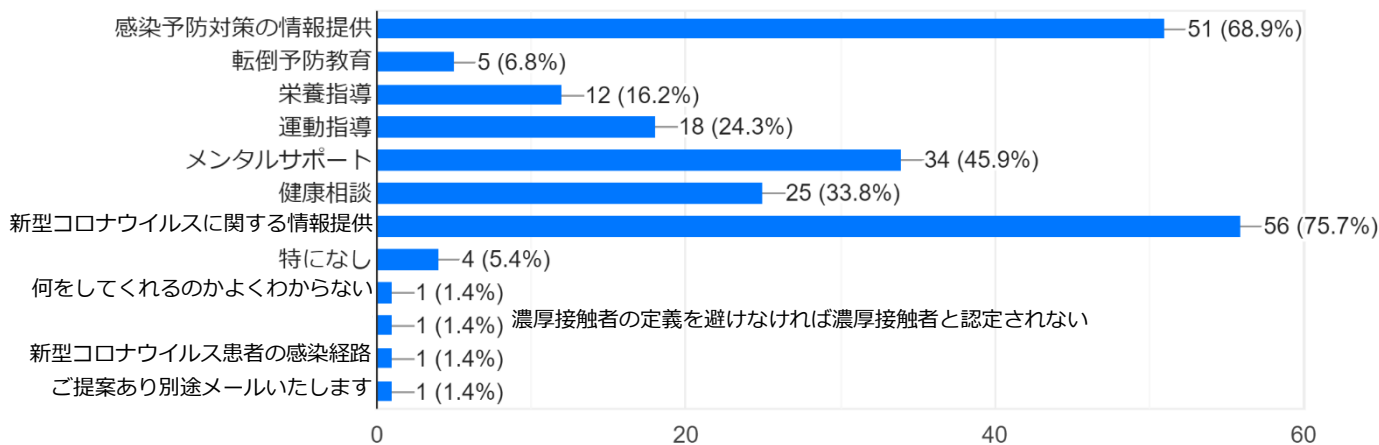
6. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う健康上の不安やお困りごと (n=74) 複数回答可



7. 新型コロナウイルス感染拡大に伴うお困りごとへの対処法 (n=74) 複数回答可



8. 新型コロナウイルス感染拡大に伴い JANP センターに期待すること (n=74) 複数回答可



9. 今後の JANP センターの情報発信の方法について希望するもの (n=74) 複数回答可

